

# はしき議会だより

令和2年  
11月1日発行  
2020 NOVEMBER  
No.172



10月オーブンの竹鼻まつり山車会館(宮町・新町)

- 主な内容
- 第5回(9月)定例会概要、質疑、  
人事案件、陳情・要望 …… 2～4P
  - 意見書を可決、  
市長の不信任決議を否決 …… 5P
  - 一般質問  
15人が市政を問う …… 6～11P
  - 9月定例会審議結果 …… 12P



# 第5回（9月）定例会

9月定例会で次のことが決まりました。

第5回市議会定例会は9月1日招集され、9月25日までの25日間の会期で開催されました。

今定例会には、令和元年度一般会計・特別会計・事業会計の決算認定、条例の一部改正、令和2年度補正予算など30件が提出され、本会議、委員会、特別委員会慎重に審議の結果、原案のとおり承認、同意、可決及び認定しました。

また、議員発議による意見書2件を原案のとおり可決し、市長の不信任決議は否決しました。今定例会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

### 羽島市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について

新型コロナウイルス感染症の防疫作業に当たる職員に特殊勤務手当を支給します。

新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するため、国が防疫等作業手当の特例を設けたことに伴い、市においても防疫等作業手当の特例を設けます。

**問** 新型コロナウイルス感染症から市民の生命及び健康を保護するために行われた措置に関わる作業で、市長が定めるものに従事するが、どのような職種で、どのような作業か。

**答** 職種としては、主に市民病院の医療職として、医師、看護師、臨床検査技師、放射線技師等を想定している。また、患者を救急車で搬送することも業務として想定されることから、消防救急隊員に

ついては、新型コロナウイルス感染症の患者の身体に接触して行う作業、新型コロナウイルス感染症の患者に長時間にわたり接して行う作業、新型コロナウイルス感染症の患者が使用した物件の処理又は消毒の作業とこれらに準ずる作業を予定している。

**問** 従事した1日につき4000円を超えない範囲内で、市長が定める額の感染防疫作業手当を支給

とあるが、想定している金額は、人事院規則に準じた設定を行う予定をしており、新型コロナウイルス感染症から市民の生命及び健康を保護するために行われた措置に係る作業に従事した職員に対し、1日当たり3000円を支給

## 質疑

### 決算認定

今定例会に上程された議案のうち、決算認定案件については予算決算特別委員会において審査しました。

**問** 令和元年度羽島市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書について、「財政状況は概ね健全性を維持している」とされた理由は。

**答** 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条の規定に基づき、財政の「健全化判断比率」の4つの指標である「実質赤字比率」、「連

する予定をしている。ただし、患者又はその疑いのある者の身体に接触して行う作業、又は長時間にわたり接して行う作業については、1日当たり4000円とする予定をしている。

結実質赤字比率」、「実質公債費比率」及び「将来負担比率」の4指標に係る審査が行われた結果、財政の健全性を示す全国統一の指標が、「該当なし」あるいは、国から示された基準をクリアしていることから、「概ね健全である」との意見が付されたものである。

**問** 選挙費について、選挙の職員手当が参議院議員選挙、県議会議員選挙、市議会議員選挙で差がある理由は。

**答** 統一地方選挙については、平成30年度より選挙準備事務を行っており、平成30年度分として支払われた手当分があること、また、期日前投票期間が参議院議員選挙は16日間、県議会議員選挙は8日間、市議会議員選挙は6日間であったことも手当額が異なる主な要因である。

**問** 国際交流事業について、ホストタウンであるスリランカとの友

単位：%

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和元年度	—	—	4.2	23.2
早期健全化基準	12.91	17.91	25	350

# 第5回（9月）定例会

好を深めるために行った事業は。

**答** 羽島市ホストタウン実行委員会と連携して行った主な事業・取り組みとして、スリランカオリピック組織委員会の事務局長及び秘書官が当市を訪問され、東京オリンピック競技大会終了後の交流について合意書を締結したほか、スリランカへ陸上競技指導者及び市消防署職員を派遣し、現地で陸上競技・消防救助技術のトレーニングプログラムをそれぞれ2日間にわたり実施した。

**問** 移住定住推進費について、移住体験施設の実績は。

**答** 移住体験住宅「やどかりの家」は、令和元年度に民間の空き家を改修して開設したものであり、所有者から借り上げた住宅をNPO法人「岐阜空き家・相続共生ネット」へのサブリース契約により、入退去を含む管理を行う計画となっている。移住体験住宅は、市外の方を対象に、最長で6カ月間の利用が可能で、令和元年度は7月に開設後、10月から3月までの6カ月間、単身世帯の入居があり、東海道新幹線や名神高速道路への利便性がよく、魅力的な場所であるとの感想をいただいた。

**問** コミュニティバス運営事業に

ついて、運転免許自主返納支援として交付した無料乗車証の有効期間と交付した人数は。

**答** 運転免許証を自主返納等された市内在住の65歳以上の方の申請により、市コミュニティバス6カ月間の無料乗車証を49人に交付した。

**問** 障害福祉計画策定事業の令和元年度実績と今後のスケジュールは。

**答** 令和元年11月に策定委員会を開催、アンケートの内容の検討を行い、令和2年1月にアンケート調査を行った。令和2年度は8月に策定委員会を開き、計画素案の検討を行い、令和2年度中に第6期羽島市障害福祉計画及び第2期羽島市障害児福祉計画を策定する予定。

**問** 子ども・子育て支援事業計画推進事業で、子育て支援企業認証・表彰制度の実績は。

**答** 子育て支援企業認証・表彰制度は、企業の子育て支援への意欲を高め、子育てしやすいまちづくりを推進することを目的として、子育てを支援する企業を市が認証するとともに、特に優れた取り組みをしている認証企業を表彰し、奨励金を授与するもので、令和元

年度から実施している。

認証・表彰企業の審査を子ども・子育て会議にて行い、応募のあった6社について、特色

ある取り組みが同会議の委員に評価され、子育て支援企業に認証し優秀賞として表彰した。

**問** 母子衛生費母子保健事業について、母子健康手帳アプリ登録者の経年推移は。

**答** 母子健康手帳アプリの登録者数は、利用開始年度の平成28年度末が262人、29年度末が498人、30年度末が677人、令和元年度末が789人である。



スマホからダウンロード

**問** 研究指定校推進事業について、平成30年度決算額と比較して大幅に増額となった理由は。

**答** 新たに文部科学省委託事業「学



子育て支援企業を表彰

る調査研究」を行ったため、「強制的で画一的学習」から「自律的で適応的学習」への転換を図るために、「習熟度に基づく学習プリントを活用した補充学習について研究した。

**問** いじめ・不登校対策専門員の配置先と支援内容は。

**答** いじめ・不登校対策専門員は、足近小、正木小、竹鼻小、中央小、福寿小、羽島中、竹鼻中、中央中、中島中を本務校として配置し、小熊小、堀津小、中島小、桑原学園には兼務をかけ、必要に応じて支援を行うよう計画し、学校の職員や市の教育相談員と連携を図りながら、悩みを抱える児童生徒や不登校傾向のある児童生徒に対する心の相談、学習や生活の見届けと励まし、必要があれば家庭訪問し、保護者との面談を実施した。

**問** 商工業振興費について、地場産業販路開拓等支援事業費補助金の内容は。

**答** 地場産業の活性化を図るため、販売力強化の一環として実施する国内・海外での新商品等の展示会・見本市の出展などの販路開拓事業を行う経費の一部を補助するもので、岐阜県毛織工業協同組合に交付した。この補助事業により、同

## 第5回（9月）定例会

組合は愛知県や東京都、イタリヤ・ミラノなど、国内外で開催された見本市や商談会に出展され、商談件数・成約件数ともに目標を達成する結果であったと報告を受けている。

**問** 地産地消推進事業について、大豆の試験栽培の成果は。

**答** 農事組合法人市之枝営農組合が実施主体になり、面積1・2haで栽培し、1080kgを収穫した。試験栽培は複数年行うことを考えており、現在2年目の大豆の作付けを行っている。

**問** 交通安全施設整備事業について、大津市の園児死傷事故を受けて、通学路等の安全対策を行ったと聞いているが、江吉良町牧野交差点における対策は。

**答** 当該交差点については、大津市の事故を受け、羽島市通学路安全推進会議にて、優先的に整備する箇所の一つとして挙げられた場所で、推進会議で検討した結果、歩道整備に必要な用地取得には多くの時間を有することから、早期対応出来る対策として、交差点の北西部に防護柵を設置し、交差点部に区画線の引き直しを実施した。

**問** 介護保険特別会計について、介護サービス給付費で、令和元年

度末における、市内の特別養護老人ホームの数、定員、入所者数、待機者数は。

**答** 市内の特別養護老人ホームは6施設で、定員は合計310人、入所者数は293人、待機者数は146人である。

**問** 下水道事業特別会計について、これまでの下水道管渠整備の累計の供用開始面積と下水道整備率は。

**答** 累計の供用開始面積は、1003haとなり、計画区域面積1502haに対し、整備率が66・8%となる。

**問** 病院事業会計について、一般病床と地域包括ケア病床の病床利用率は。

**答** 病床利用率については、一般病床が271床で74・7%、うち地域包括ケア病床が76床で90・7%である。

**問** 上水道事業会計について、基幹管路の耐震化の進捗状況は。

**答** 約25・3kmが耐震化済みとなっており、基幹管路の計画延長約64・5kmに対し、耐震化率は39・2%となる。

### 令和2年度補正予算

**問** 羽島市スーパープレミアム付商品券等発行事業について、プレ

ミアム商品券が使える店舗数は。

**答** 羽島市スーパープレミアム付商品券等発行事業における取扱店舗数は、8月31日現在で192店舗で、そのうち市内に本社または本店を有するじもと応援券取扱店が145店舗、大型店等の共通券取扱店が47店舗となっている。

**問** 中学校・義務教育学校空調機器整備事業について、どの教室に空調機器を整備する計画か。

**答** 中学校・義務教育学校の空調を整備する主な教室は、使用頻度が高い音楽室、木工室、美術室、被服室、少人数指導教室で、5校22教室に空調機器を整備する計画となる。

### 条例改正

**問** 羽島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、ただし書で介護支援専門員を管理者とすることに経過措置の期間を設けた理由は。

**答** 経過措置の期間は、主任介護支援専門員になるための研修の受講要件である実務経験が満たせない等、人材確保が難しい状況を考慮する必要があるため、国において経過措置に期間が設けられてい

る。

### その他

**問** 市道路線の認定について、竹鼻町狐穴の栄町9号線において、名古屋鉄道株式会社との借地契約の内容は。

**答** 昭和63年に土地使用借契約を行っており、当該認定にかかる敷地を名古屋鉄道株式会社から羽島市が使用目的を道路敷として無償で借地する内容となっている。

### 人事案件

羽島市教育委員会委員に

黒田 淳さん（桑原町）

委員の任期満了に伴い、黒田さんを再び任命したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

### 陳情・要望

9月定例会で受理した陳情・要望は次の1件です。

・「新型コロナウイルス感染症に係る新たな支援制度の創設を求める意見書(案)」の採択を求める陳情

受理した陳情・要望は本会議で報告され、全議員に陳情書の写しを配布しました。

## 意見書2件を可決、市長の不信任決議については否決

9月定例会において3件の発議があり、そのうち2件の意見書について可決し、国の関係機関に提出しました。また、市長の不信任決議については要件を満たさないため否決しました。

### 発議第6号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書

#### 【趣旨】

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、地方税財源の確保を求めるよう意見書を提出する。

### 発議第7号 防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書

#### 【趣旨】

現在、世界は異常な気候変動の影響を受け各国各地でその甚大な被害を被っている。我が国でも、豪雨、河川の氾濫、土砂崩落、地震、高潮、暴風・波浪、豪雪、高温など、自然災害の頻発化・激甚化にさらされている。このような甚大な自然災害に事前から備え、国民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化は、一層その重要性を増しており、喫緊の課題となっている。

現状では、過去の最大を超える豪雨による河川の氾濫・堤防の決壊、山間部の土砂災害等により多くの尊い命が奪われるなど、犠牲者は後を絶たない。今後起こりうる大規模自然災害の被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながるよう「防災・減災、国土強靱化」はより一層、十分な予算の安定的かつ継続的に確保が必須である。

よって、国におかれては、防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求めるよう意見書を提出する。

### 発議第5号 羽島市長の不信任決議について

#### 【趣旨】

昨年から進められている財政安定化対策で、補助金等の見直し、職員の給与・手当等の削減が行われ、市民生活などに多大な影響と不安を与えています。また、職員の給与・手当の削減については、モチベーションの低下、中途離職、新規採用等に大きな影響を与えています。また、SNSで議員の個人名を掲載し、議員の名誉に関するようなことまで何回か掲載して、不安を覚えさせる事が行われました。

以上のようなことから、市長は事業を「市民第一主義」で進めることができていません。その責任は極めて重いものがあります。

よって羽島市長である松井 聡氏を信任しない。

賛成						反対					
粟津	明	毛利	廣次	川柳	雅裕	南谷	清司	柴田	喜朗	後藤	國弘
豊島	保夫	堀	隆和	山田	紘治	原	一郎	安井	智子	野口	佳宏
花村	隆	星野	明	近藤	伸二	南谷	佳寛	藤川	貴雄	糟谷	玲子

記名投票による採決の結果、**賛成9票、反対9票**となり、地方自治法で定める出席議員の4分の3以上の賛成に満たないため**否決**となりました。

令和2年  
9月定例会

15議員が市の諸問題を問う！

# 一般質問

**1 南谷 佳寛 議員** 7

- ①羽島市政のこれまでの政策評価と今後の施政方針及び課題について
- ②羽島市民病院について
- ③ごみ処理施設建設について
- ④スポーツ施設の充実について

**2 近藤 伸二 議員** 7

- ①働く意識に関するアンケートについて
- ②職員給与・手当の削減の検証について

**3 豊島 保夫 議員** 7

- ①新型コロナウイルス感染症に関する予算について
- ②羽島市民病院の運営及び感染症対策等について
- ③学校への支援について

**4 糟谷 玲子 議員** 8

- ①新型コロナウイルス感染症対策について
- ②命を守る予防接種について
- ③脱炭素社会に向けた取り組みについて

**5 花村 隆 議員** 8

- ①PCR検査について
- ②羽島市の教育について
- ③生活保護について

**6 堀 隆和 議員** 8

- ①羽島市の財政について
- ②羽島市民病院の経営について

**7 柴田 喜朗 議員** 9

- ①働き方について
- ②コロナウイルス感染症に係る施策について

**8 原 一郎 議員** 9

- ①「新しい生活様式」に向けた施策について
- ②健幸づくり推進について
- ③SDGsの理解促進について

**9 南谷 清司 議員** 9

- ①防災について
- ②教育実習について

**10 安井 智子 議員** 10

- ①保健センターでの親子への健康支援について
- ②児童増加に伴う福寿小学校について
- ③防災対策について

**11 粟津 明 議員** 10

- ①はしご車購入について
- ②ごみ処理場施設について
- ③リース契約の現状について

**12 藤川 貴雄 議員** 10

- ①行政のデジタル化・高度化について
- ②新庁舎の建設について
- ③ポストコロナ社会における経済対策について

**13 川柳 雅裕 議員** 11

- ①私たちの大切な羽島市民病院とコロナ対策について
- ②羽島市への定住・移住促進への取り組みについて
- ③新型コロナウイルス対策 長期化への備えについて

**14 星野 明 議員** 11

- ①新濃尾大橋(仮称)都市計画道路 本田加賀野井線の進捗状況について
- ②下水道事業について

**15 毛利 廣次 議員** 11

- ①防災について
- ②旧かんぼの宿岐阜羽島への対応について
- ③新たなゴミ処理施設について

※一般質問については議員の責任において掲載しております。内容等に関するご意見は、直接議員へお尋ねください。

市議会の会議録を検索・閲覧できます。

羽島市議会 <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/hashima/pg/index.html>  
会議録検索システム



インターネットで本会議の録画中継を実施しています。

羽島市議会 <https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima/WebView/rd/council.html>  
議会中継



 **マチイロ** はしま議会だよりをアプリで配信します。  
App Store・Google playから「マチイロ」を検索し、ダウンロード

 **羽島市議会** 公式Facebookページを開設しました。  
<https://www.facebook.com/hasimasigikai/>





みなたに よしひろ  
**南谷佳寛**  
自民清和会

### 羽島市政のこれまでの政策評価と今後の施政方針及び課題について

**問** 常に「市民第一主義」を掲げ市政改革を實行し山積した行政課題に「愚直」に立ち向かい、信頼される市政の実現に腐心されてきた。11月には市長選挙が予定されているが、羽島市の厳しい局面の舵取りが出来るのは松井市長の他にないと確信しているところだが、市長の力強い決意は。

**答** 引き続き市政の責任を委ねられましたら、これまで通り市政運営の透明化を図るため適正な情報公開と説明の機会を設け、『破邪顕正（はじゃけんせい）』誤った考えを打破し正しい考えを示す守るの姿勢を貫き、法令順守を怠らず、法理や社会常識に反した批判や行動には決然と不正を正し「羽島市は変わったね」「良くなったね」と言われるふるさと羽島市を『羽島の躍進につなげる』をスローガンに今以上に発展させ活性化させるため、これまで通り粉骨碎身努力する。

市政への取り組みの基本理念は「選択と集中」、市民ニーズを的確に把握しながら事業の優先度を選択して限られた財源を投入し、現役世代と将来世代の負担にも目を配りながら『心安らぐ幸せ実感都市はしま』の実現に努める。



こんどう しんじ  
**近藤伸二**  
自民クラブ

### 職員給与・手当の削減の検証について

**問** 職員の給料・手当の削減措置は令和2年度から3年間実施される。令和2年3月議会において、発議第3号議第15号羽島市職員の給与に関する条例の一部改正する条例について附帯決議が提案された。削減については、職員のモチベーション、仕事に対する自らのやる気、職員の新規採用、職員の途中離職等が考えられ大変心配である。羽島市役所は、人口1万人の職員数が同規模の自治体と比較しても全国で最も職員数が少ない自治体に位置付けられている。職員の給与支給額の減額は職員の生活に大きな影響を及ぼすため、附帯決議では1年ごとで検証を行い議会に報告の上必要に応じて見直すこととし、発議第3号は原案のとおり賛成多数で可決されている。検証後の見直しへの対応は。

**答** 財政の「安定化対策」に基づき、毎年度、決算ベースの正確な数値を把握した上で、5カ年先の中期財政見通しに基づき、財政調整基金残高の予測値を検証事項として、職員給与及び手当の削減については、1年ごとに検証を行い、その結果については、議会に報告した上で、職員組合、互助会等と協議を行い、必要に応じて削減の可否、もしくは削減幅の見直しなどを判断するものとする。



とよしま やすお  
**豊島保夫**  
元気・羽島クラブ

### 新型コロナウイルス感染症に関する予算について

**問** 国の一次、二次の臨時交付金の配分金と対象事業、金額は。

**答** 第一次交付限度額2億265万1千円、第二次交付限度額5億3807万7千円の合計7億4072万8千円が配分されている。市単独の対象事業として、学校の手洗いレバーの設置や保健センターの環境整備などに約2800万円、経済対策では、スーパープレミアム付商品券等発行事業に約2億6500万円、セーフティネット保証4号の認定を受けた事業者への運転資金の融資あつせん、売上高が一定割合を超えて減少している事業者への事業継続の支援金の給付などの予算を措置している。

**問** 国、県等の補助金を活用した事業及び金額とその内の一般財源の金額は。

**答** 新型コロナウイルス感染症対策関連事業約82億2千万円の内、特別定額給付金給付事業に約68億5千万円、子育て世帯やひとり親世帯への臨時特別給付金事業に約1億7千万円など合計で72億8千万円の予算を計上している。一般財源の負担額は、現在のところ約7億7千万円である。この負担分は今後臨時交付金で充当する予定である。



かすや れいこ  
**糟谷 玲子**  
公明党

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 羽島市総合防災訓練を行う北部以外の市民の方にも、大きく変更となる新型コロナウイルス感染症対策の訓練周知が必要と考えるが対策は。

**答** 写真やイラスト等を用いて詳細に説明した手順書となる「新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設マニュアル」を8月に作成し、公式ホームページに掲載した。これを基に避難所開設方法の説明動画を作成しており、完成は10月予定で、映像は公式ホームページへの掲載のほか、DVDに保存したものをマニュアルとともに自治委員（自主防災組織）の皆様に配布する予定である。

### 命を守る予防接種について

**問** 厚労省は今年10月1日からロタウイルスワクチンを、予防接種法に基づく定期接種と決定しました。接種漏れや期限切れを防ぐ取り組みは。

**答** ロタ予防接種対象者には、出生の翌月にロタウイルス感染症の説明や効果、副反応、接種方法を記載した接種勧奨の案内文書と予診票を郵送する。母子手帳アプリによる接種勧奨や乳児訪問等の接種勧奨も実施する予定である。



はなむら たかし  
**花村 隆**  
日本共産党  
羽島市議員

### 羽島市の教育について

**問** 県が条例を改正すれば公立学校に「1年単位の變形労働時間制」を導入することが可能になった。恒常的に長時間の時間外勤務を行っている教員の働き方をさらに悪化させかねない制度であるが、市は今後実施する考えはあるか。

**答** 變形労働時間制は、仕事の状況に応じて勤務時間を変えることで、教職員の心身の健康維持に資すると考える。今後1カ月単位または1年単位の變形労働時間制の導入を進めたい。

**問** 子どもたちへの手厚い教育のために少人数学級が必要である。早急にすべての学年で35人学級にし、さらに20人程度の学級を目指すことが必要ではないか。

**答** きめ細かな指導を充実するには、すべての学年で35人学級の実現が肝要だと考えている。今後も国や県に対して引き続き要望をしていく。  
**問** 各学校にプールがあれば、泳ぎが苦手な児童生徒に対して夏休み等を利用してさらに指導する事が可能である。プールを整備していく事についての考えは。

**答** プールが使用困難となった場合、小学校は水泳授業の民間委託、中学校は水泳授業を実施しない方向で考えており、プールを整備していく計画はない。



ほり たかかず  
**堀 隆和**  
正統派クラブ

### 羽島市の財政について

**問** 市長は、新聞記事に何をもって、「羽島市は県内一の財政困窮自治体」と言われたのか。

**答** 多数の車両をご寄付いただいたことから、市財政の現状を考え、「経常収支比率」の関係での決算についても県内で最も高い状況であることを念頭におきながらのコメントである。

**問** インター南部東地区は、企業誘致できる用地もほとんどなくなっている。ニーズにあった地区計画を次々に打っていくべきであるが、現在は。

**答** 新たに企業誘致の場の創出に向け、岐阜羽島インター南部地域について、市街化区域への編入後、地区計画道路の整備など、企業が立地しやすいよう環境整備を行い、企業誘致を進めていく。

### 羽島市民病院の経営について

**問** 羽島市民病院の現在の常勤医師は24名である。22名が部長、医長は2名、医員に至っては0名である。年齢構成が高いと思う。病院最大の経費である人件費率は。

**答** 平成30年度の職員給与費対医業収益比率は、60・4%である。類似区分が同一である全国の病院の平均は、59・3%である。





しばた よしろう  
**柴田 喜朗**  
市政自民クラブ

### コロナウイルス感染症に係る施策について

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難な方に対する猶予制度利用者は。

**答** 納税が困難な方に対し令和2年4月30日に施行された「徴収猶予の特例制度」の利用は8月末時点での認可件数は127件で、税額は5451万3700円となっている。

**問** この度のコロナウイルス感染症拡大により解雇や雇止めを受けられた方に対して市が講じている今後の対応策は。

**答** 制度として「住居確保給付金」があり、これはコロナ禍の影響で失業や収入が減少した方などに対し、基準額内の家賃相当分を3カ月分、最大9カ月分を大家等に支払う制度がある。

**問** スーパープレミアム付商品券事業は。

**答** 今後のスケジュールとして、9月25日頃から順次購入引換券を送付し、10月1日から市民会館等で先行販売、10月8日から10月30日まで販売を行う。また今年の敬老会の中止に伴い、長寿祝い商品券として満80歳以上の方に1000円分、満75歳、80歳、85歳、90歳、99歳の方に3000円分の商品券を配布する。また令和2年4月28日から12月31日の期間に生まれた子を持つ世帯に対し、子1人につき5万円分の商品券を配布する。



はら いちろう  
**原 一郎**  
公明党

### 「新しい生活様式」に向けた施策について

**問** 新型コロナウイルス感染症防止に、人間の心理や癖を踏まえて工夫をすることで、望ましい行動を自発的に促す行動経済学「ナッジ」が注目されているが、研究活用の考えは。

**答** 市民の皆さんの新型コロナウイルス感染症予防をはじめ、幅広い場面での動機付け、きっかけづくりに寄与するものと考えられることから、市としても「ナッジ」の視点を踏まえた「今だからできる、ひと工夫」について検討していく。

**問** 市はGIGAスクール構想の早期実現を指しているが、進捗状況と今後の計画は。

**答** 児童生徒の「1人1台端末」の実現については、今議会初日に議案が可決され、本契約を締結したところである。学校内のLAN工事は令和2年10月から着工予定である。今後は特別な支援を必要としている児童生徒を含め、一人一人が、学習ソフトやアプリを活用し、自分に合った内容手順で学べる授業、オンラインによる高校説明会や外部人材授業、大型掲示装置による仲間と対話する授業など、ICTを最大限に活用した学びを計画している。



### 防災について

**問** 公園を活用した指定緊急避難場所は、市中

央部や市街化区域に多く、市の南部や北部の旧来からの集落には少ない。市民からの土地寄付などにより公園を造り、各集落の実情に応じた小規模防災拠点兼避難場所を整備してはどうか。  
**答** 公園敷地として土地寄付の申し出をいただいた場合、地元の協力体制や地域的に防災に適している場所かどうかなどを考慮し、検討する。

### 教育実習について

**問** 先生方の負担軽減の方策については。

**答** 教育実習の成績評価について簡素化を図る。また、羽島市の統一形式として実施が可能かどうか、各大学と協議を重ね検討する。

**問** 教育実習や体験実習の受け入れについては、市教委としてガイドラインを策定してはどうか。

**答** 実習生の要件や受入基準、大学等の役割、実習生の責務、実習の評価や経費などからなるガイドラインの策定は有効である。受入基準としては、年間、1校につき学級数の3分の2程度の人数を受入限度数の目安とし、常勤講師や経験年数が3年に満たない教員は実習生の主たる指導を行わない事を原則にするなど、教職員



みなたに きよし  
**南谷 清司**  
自民清和会



やすい ともこ  
**安井 智子**  
自民清和会

### 保健センターでの親子への健康支援について

**問** コロナ禍における行事の実施状況は。

**答** 一部の事業を除き、令和2年5月より事業を順次開催している。外出できない人には、動画を市ホームページに掲載している。

**問** 今後の保健センターの駐車場の確保は。

**答** 新庁舎南側に最大限の台数確保に努める。

**問** 保健センター2階トイレの洋式化と、調理室の今後の改修予定は。

**答** 今回の保健センター改修は、地方創生臨時交付金を活用し実施するため、工期の関係から使用頻度の高い1階トイレを優先し、整備を行う。調理室の改修予定は、現在のところない。

### 児童増加に伴う福寿小学校について

**問** 児童数の動向と学校教員確保は。

**答** 児童数は、令和2年度441名と増加傾向。教員数については、16学級23名。学習等に支障がないよう確保されている。

**問** 施設の整備計画と今後の見通しは。

**答** 3学級から5学級の増加を見込み、校舎の増築を計画、令和2年度は設計に取りかかる。福寿小学校は、令和5年度には500名を超える想定。市全体の児童生徒数は、令和5年度5325名と減少傾向である。



あわづ あきら  
**粟津 明**  
自民クラブ

### はしご車購入について

**問** はしご車購入による将来負担比率と財政負担は、どれくらいになるのか。

**答** 将来負担比率は0・9%増で24・1%、将来負担する額は約1億2000万円である。

**問** 市の財政が苦しくなることが予想されるが、命の尊さと財政負担のどちらを選択するかは執行部の判断である。発注する時期はいつか。

**答** コロナ禍の為、今後の財政状況を見て決定する。

### ごみ処理場施設について

**問** 都市計画決定や用地買収書も一年ほど早くなったが、市としてスケジュールの考え方は。

**答** 一部事務組合のスケジュールについては、一部事務組合の意思決定機関により表明される事項であり、答えられる立場にない。

**問** スケジュールなどは組合が決めるとのことだが、組合の意思決定の方法は。

**答** 組合の重要な事務事業は、各副市長、副町長、各担当部長で構成されるプロジェクト委員会で協議し、パブリックコメントを経て、副管理者、管理者が了承し決定される。これら重要事務事業は、羽島市では市長指示のもと、各職員が組合での協議等に臨み決定されている。



ふじかわ たかお  
**藤川 貴雄**  
自民清和会

### 新庁舎の建設について

**問** ユニバーサルデザインを必要とされる方に庁舎機能を体験していただく機会や障がい者の目線に立った施設利用を確認するプログラムを計画しては。

**答** 新庁舎完成後には内覧会の実施を予定している。その機会に、障がい者をはじめ多くの市民に新庁舎における様々なユニバーサルデザインやサインシステムをご覧いただき、体験・体感していただくことを検討している。

### ポストコロナ社会における経済対策について

**問** 雇用の維持確保に向けた取り組みは。

**答** 国は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業活動の縮小を余儀なくされた事業主に対し、雇用調整助成金の特例措置として補助率を引き上げるなど、従業員の雇用維持に向けた支援を行っているが、雇用調整助成金の申請手続きは提出書類が多く複雑であることから、市では事業主が社会保険労務士等に申請手続きを依頼した場合の手数料の一部を助成している。

雇用調整助成金の支給を受けた場合における事業主の負担分についても、市独自の上乗せ助成を実施し、事業主が雇用の維持に努められるよう、負担の軽減を図っている。



かわやなぎ まさひろ  
**川柳 雅裕**  
元気・羽島クラブ

**私たちの大切な羽島市民病院とコロナ対策について**

**問** 新型コロナウイルス感染症により、生活習慣や医療環境が変化している。特に都市部からの医師や医療従事者を募集する大チャンスと思われるが、市民病院の考えは。

**答** 診療体制、経営状況を鑑み、引き続き適正かつ計画的な人材確保に努める。

**問** 市民病院で活躍する腕のよい医師が未永く診療を続けていただくために、市立芦屋病院(兵庫県芦屋市)が行っている「院内開業医師制度」を設けることで、市民病院内の開業・独立できるようにならないか。

**答** 「院内開業医師制度」については、独立した受付等の空間設備やシステムの運用など、現在の病院施設、設備等を鑑みると課題が多いことから、導入については困難であると考ええる。

**羽島市への移住定住促進への取り組みについて**

**問** コロナウイルス感染症により、都市圏から地方への定住・移住する考えが増えるといわれるなかで、魅力が多く、暮らしやすい、私たちの羽島市へ住んでいただくチャンスと考えるが、都市部への推進活動をどう進めているのか。

**答** 今後も県の移住定住施策を活用しながら、市への移住定住の促進に努めていく。



ほしの あきら  
**星野 明**  
自民クラブ

**(仮称)新濃尾大橋、都市計画道路本田加賀野井線の進捗状況について**

**問** (仮称)新濃尾大橋の完成目標年度は。

**答** 完成目標は、事業計画上是令和5年度末であるが、現在公告中の上部工の工期が令和5年度末で、その後舗装をはじめとした橋面工などを控えていることから、令和の一桁台半ばが目標と聞いている。

**問** 都市計画道路本田加賀野井線のうち、現在の未整備区間の整備はどのような考えか。

**答** 都市計画道路本田加賀野井線は、都市計画道路上中岐阜線から一般県道羽島稻沢線までの約1・6 km区間は事業に着手しておりませんが、これまで通り、令和2年度も市長が岐阜土木事務所長に対して、県道への昇格と県事業による整備を要望した。西濃地域の2市3町と連携し早期事業化して整備していただくよう岐阜県に対し、毎年要望している。

**下水道事業について**

**問** 下水道事業には、多額の費用が掛かると言われている。下水道使用料で多く賄うため、下水道使用料見通しの考えは。

**答** 受益に応じた適正かつ公平な負担となるよう使用料の見直しも必要であると考えている。



もうり ひろつぐ  
**毛利 廣次**  
元気・羽島クラブ

**防災について**

**問** ハザードマップに基づく避難計画は。

**答** 避難所までの避難行動につきましては、災害避難カードの作成が有効と考え、カードとハザードマップを用いて、避難に要する時間等確認し、早めの避難を呼びかけている。

**問** 防災行政無線の難聴対策は。

**答** 豪雨や強風等により放送内容が聞き取れない時は、はしメールや通話料無料で確認できるテレホンサービスにより対応している。また、設置箇所の移設やスピーカーの向きを調整する。

**旧かんぼの宿岐阜羽島への対応について**

**問** 施設の跡地利用と西側に通学路もあるが管理状況は。

**答** 市が取得した場合、体育館は活用、宿泊棟は老朽化も進み有効利用は難しい状況。警備会社が施設内を点検し警備システムを引き続き運用、樹木の繁茂は7月に適切な管理を要請した。

**新たなゴミ処理施設について**

**問** 新処理場に向けた地域貢献は。

**答** 工場棟東側に、地域住民の要望を踏まえて多目的会議室、浴場、調理室やキッズルーム等整備予定。空き地は、多目的広場として活用。

## 第5回（9月）定例会 議案の審議結果

議案番号	提出議案	審議結果
報第8号	専決処分の報告について（専第12号 損害賠償の額を定めることについて）	報告
報第9号	専決処分の報告について（専第14号 損害賠償の額を定めることについて）	報告
報第10号	令和元年度羽島市健全化判断比率の報告について	報告
報第11号	令和元年度羽島市資金不足比率の報告について	報告
報第12号	放棄した債権の報告について	報告
承第6号	専決処分の報告並びにその承認について（専第13号 令和2年度羽島市一般会計補正予算（第6号））	原案承認
承第7号	専決処分の報告並びにその承認について（専第15号 令和2年度羽島市一般会計補正予算（第7号））	原案承認
議第80号	羽島市教育委員会委員の任命について	原案同意
議第81号	羽島市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第82号	羽島市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第83号	羽島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議第84号	令和2年度羽島市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議第85号	令和2年度羽島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第86号	令和2年度羽島市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議第87号	令和2年度羽島市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議第88号	動産の取得について	原案可決
議第89号	市道路線の認定について	原案可決
認第1号	令和元年度羽島市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第2号	令和元年度羽島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第3号	令和元年度羽島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第4号	令和元年度羽島市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第5号	令和元年度羽島市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第6号	令和元年度羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第7号	令和元年度羽島市インター北土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第8号	令和元年度羽島市駅北本郷土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第9号	令和元年度羽島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第10号	令和元年度羽島市病院事業会計決算の認定について	原案認定
認第11号	令和元年度羽島市上水道事業会計決算の認定について	原案認定
議第90号	令和2年度羽島市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議第91号	令和2年度羽島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
発議第5号	羽島市長の不信任決議について	否決
発議第6号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	原案可決
発議第7号	防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書について	原案可決

令和2年度の「羽島市議会意見交換会」は、開催に向け準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止します。

**市議会を傍聴しましょう**

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により傍聴を制限する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

聴覚に障がいのある方も手話通訳を介して、議会を傍聴していただけます。

手話通訳者の派遣をご希望の方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局にお申し込みください。なお詳細につきましては、市議会ホームページをご覧ください。

発行：羽島市議会

〒501-6292 羽島市竹鼻町55 TEL (392) 1111 FAX (391) 1733 <https://www.city.hashima.lg.jp>

編集：広報広聴委員会